

令和2年度に実施した就職氷河期世代 非正規職シングル女性の 就労支援にむけた調査及び事業開発報告書がまとまりました

～令和3年度は伴走型支援を軸とした就労支援プログラムを実施します～

横浜市では、国の地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用し、就職氷河期世代の非正規職シングル女性を支援するための取組を進めています。

令和2年10月から令和3年1月にかけて、就職氷河期世代の非正規職シングル女性の正規雇用化に向けた有効な就労支援プログラム開発を目的として、当事者及び企業を対象に以下の調査を実施しました。

- ・当事者の就労意識と支援ニーズを探るため、首都圏在住で34～49歳の働くシングル女性を対象にしたWEBアンケート及びヒアリング調査
- ・採用側である企業のニーズや採用にあたり障壁となる点を把握するため、市内企業20社を対象にしたヒアリング調査

このたび、調査結果及び調査結果を踏まえた就労支援プログラムの内容がまとまりましたので、ご報告します。

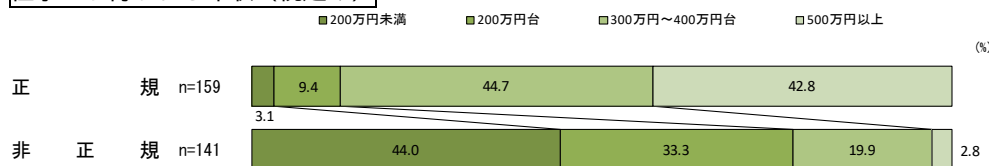
■ 調査結果（抜粋）

非正規雇用者は正規雇用と比べて収入・貯金額が少ない→経済不安が大きい→約半数が正規転換を希望

● 年収（報告書 P. 5）

- ・正規雇用者では9割弱が300万円以上であるのに対し、非正規雇用者では4人に3人以上が300万円未満。

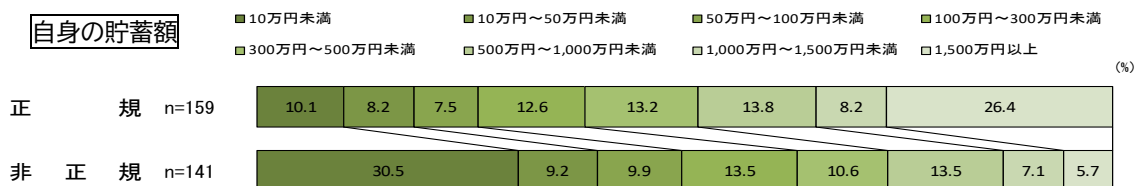
仕事から得られる年収（税込み）



● 貯金額（報告書 P. 6）

- ・正規雇用者では3分の1超が1000万円以上であるのに対し、非正規雇用者では10万円未満が30.5%と最も多い。

自身の貯蓄額



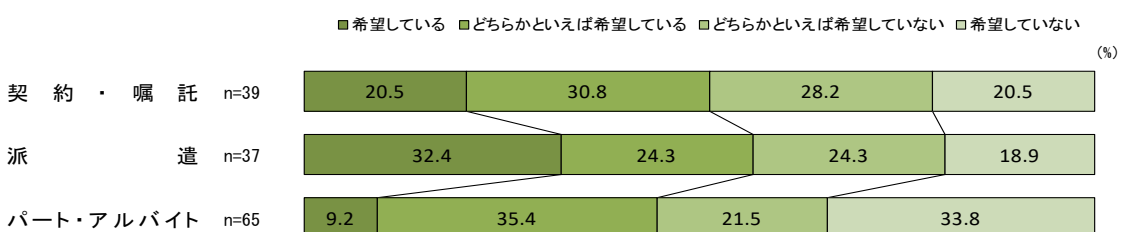
● 新型コロナウイルス感染症拡大の仕事への影響による働き方の変化（報告書 P. 11）

- ・労働時間が減った人は、正規雇用が17.0%に対し、非正規雇用者が23.4%、月給が減った人は正規雇用が5.7%に対し、非正規雇用が17.7%と非正規雇用者に大きな影響が出ている。

● 正規雇用への希望（報告書 P. 19）

- ・非正規雇用者の約半数が、正規雇用への転換を希望している（希望している+どちらかといえば希望している）。

現在、正規雇用になることを希望していますか



（裏面あり）

●調査概要（報告書 P. 1）

当事者調査	
◇ウェブアンケート ・実施方法：ウェブ調査（モニター調査） ・実施期間：令和2年10月23日～10月26日 ・調査対象：首都圏在住の34～49歳働くシングル女性（ただしシングルマザーを除く） ・実施状況：スクリーニングにより300人が回答（正規159人、非正規141人）	◇当事者インタビュー ・実施方法：対面・オンラインによる聞き取り ・実施期間：令和2年11月～令和3年1月 ・調査対象：首都圏在住の34～49歳働くシングル女性（ただしシングルマザーを除く） ・実施状況：グループインタビュー2人×2回 個別インタビュー2回＝計6人
市内企業調査	
・実施方法：対面・オンラインによる聞き取り ・実施期間：令和2年11月～令和3年1月 ・実施対象：市内企業20社（横浜市内に事業所があり、調査依頼に承諾した企業。規模や業種については偏りが無いよう考慮した。）	

■ 就労支援プログラム開発

●調査結果の整理（報告書 P. 45～47）

当事者は雇用形態等によって支援ニーズが異なるため、全員が同じプログラムを受けるよりも個別の就活プランが必要なことがわかった。

企業側は、就職氷河期世代＝既婚女性・子育て中の女性をイメージしており、正規雇用化を望む当事者の要望が必ずしも届いていない場合があることがわかった。

●プログラム開発における重点課題（報告書 P. 48～49）

当事者調査から、非正規職であることに起因する「就業上の課題」と「収入の少なさ・不安定さ」が、仕事や生活の「将来設計が見通せない」という基本的な問題を見出した。問題解決のためには、収入を増やして、将来設計を描けるようにすることが重要とし、今回のプログラム開発における重点課題と位置付けた。

●実施目的の設定（報告書 P. 50～52）

当事者及び企業調査の結果を踏まえ、当事者一人ひとりの状況を理解し、ニーズに対応することや企業に対して当事者のニーズを届けることなどの実施目的を設定した。

●就労支援プログラムの開発（報告書 P. 54）

目的達成のために、個々の課題やニーズに対応できる就活プランを作成し、就職準備から就職後の定着までの伴走型支援を軸とした支援プログラムを実施することとした。

～就労支援プログラムの流れ～

- ①アセスメント：就活コーディネーターが個別カウンセリングをし、オーダーメイドの就活プランを作成
- ②就活準備支援：キャリアカウンセリングや講座受講の支援等により求職者をサポート
- ③就活支援：採用エントリー後の応募書類添削や面接練習など就職活動をフォロー
- ④定着支援：就職後も悩み相談などでフォロー

就労支援プログラムの令和3年度実施内容の詳細については、5月中旬を目途に別途お知らせします。

■ 報告書全文は、下記ホームページからご覧いただけます

令和2年度 就職氷河期世代非正規職シングル女性調査及び事業開発報告書

URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/danjo/chosa/>

横浜市 男女共同参画関連調査

検索

お問合せ先

政策局男女共同参画推進課担当課長 栗原 渉 Tel 045-671-4061